



# 情報入試－状況報告と展望

京都精華大学メディア表現学部

鹿野 利春

# 自己紹介

鹿野 利春  
(かの としはる)

公立高等学校  
教諭

財団法人職員

教育委員会事務局

文部科学省教科調査官

情報教育振興室  
情報科担当

すべての教科等で情報活用能力を育成  
小学校プログラミング必須化  
中学校技術・家庭科技術分野でプログラミング倍増  
「情報Ⅰ」大学入試 5教科7科目→6教科8科目  
「総合的な探究の時間」の柱としてSTEAM教育  
大学で文理を問わずデータサイエンス&AI

学習指導要領改訂  
情報活用能力  
プログラミング教育  
GIGAスクール構想

文部科学省視学委員  
(STEAM教育)

大学教授

# 情報の大学入試に係る動き

西暦	高大接続関連	学習指導要領関連
2012.8.28	大学入学者選抜の改善をはじめとする高等学校教育と大学教育の円滑な接続と連携の教科のための方策について（諮問）	
2013.2.15	新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育，大学教育，大学入学者選抜の一体的改革について（答申）	
2014.11.20		初等中等教育における教育課程の基準の在り方について（諮問）
2016.12.21	<div data-bbox="440 711 871 933" style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">                     高大接続システム 改革会議                 </div> <div data-bbox="914 758 1439 933" style="background-color: #76b82a; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">                     2016.3 情報学分野の参照規準 (大学教育)                 </div>	幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策について（答申）
2018.5.17	政府の未来投資会議で情報入試の検討明文化	
2021.3.24	大学入試センター，情報サンプル問題	
2021.7.30	令和7年度大学入学共通テスト実施大綱の予告	
2021.9.29	〃（補遺）	
2022.1.28	国立大学協会総会で方針決定 （一般選抜の受験生に原則「情報Ⅰ」を課す）	

# 大学入学共通テスト改革（詳細）

2019.11-12

- 英語民間試験と記述式問題→2020年度大学入学共通テストで見送り

2021.7.30（大学入学共通テスト実施大綱の予告）

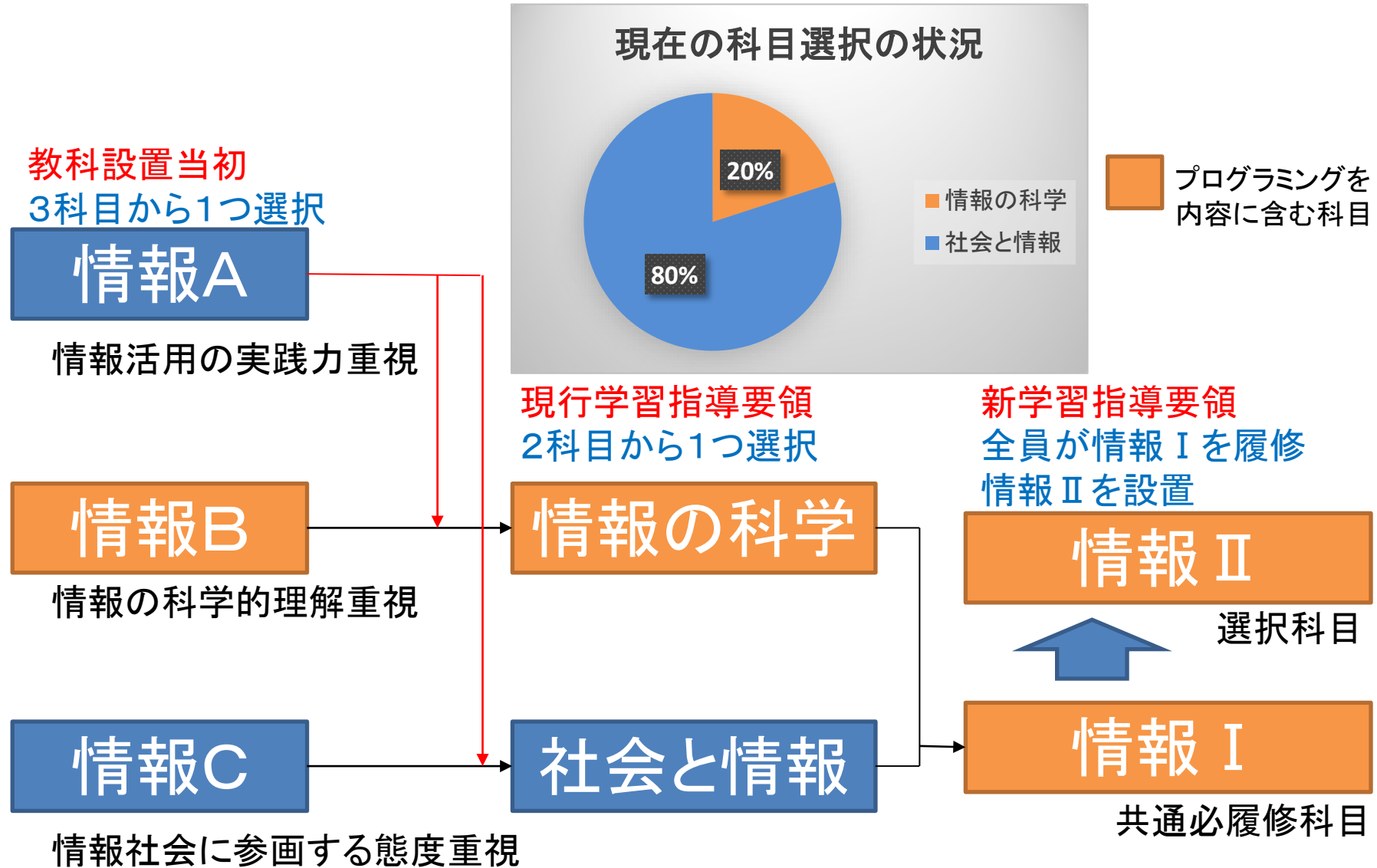
- 英語民間試験と記述式問題→導入断念
- 共通テストを6教科30科目から「情報」含め7教科21科目に再編

2021.9.29（大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺））

- 「情報Ⅰ」の試験時間60分
  - 理科の実施方法を変更することで60分の時間を捻出
- 「情報Ⅰ」で過年度卒業生に関する「経過措置」を実施



# 共通教科情報科の変遷



※産業教育についてはより専門的な科目群で構成される専門教科情報科を設置

# 「情報 I」で何が変わったか

## 社会と情報

○情報の表現, コミュニケーション

## 情報の科学

○コンピュータの活用, 情報の管理

共通

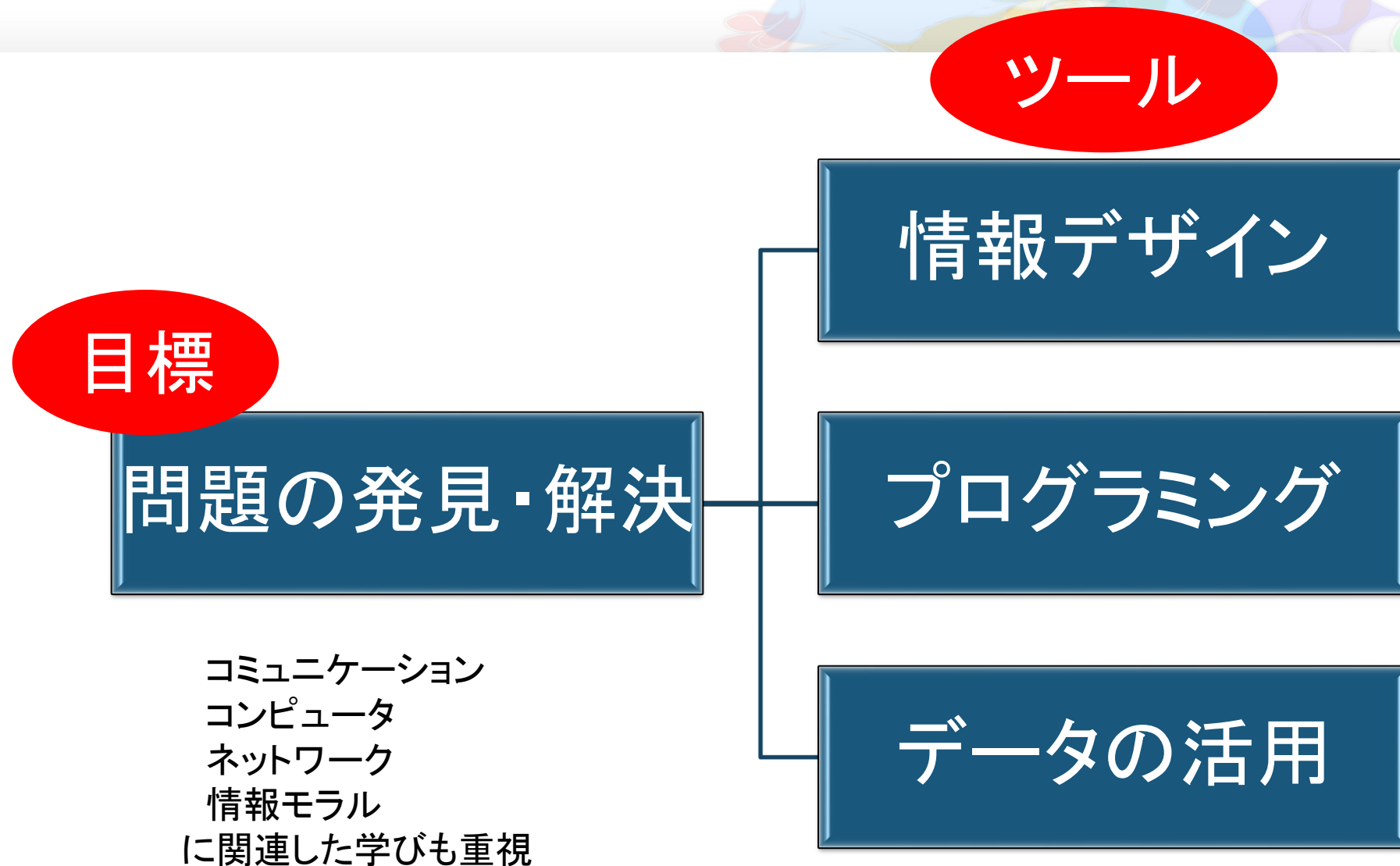
- 情報通信ネットワーク
- 情報社会, 情報技術
- 問題解決
- 情報モラル
- 情報セキュリティ

## 情報 I

- (1) 情報社会の問題解決
- (2) コミュニケーションと情報デザイン
- (3) コンピュータとプログラミング
- (4) 情報通信ネットワークとデータの活用

※赤字は新しい内容を多く含む

# 「情報 I」の構造

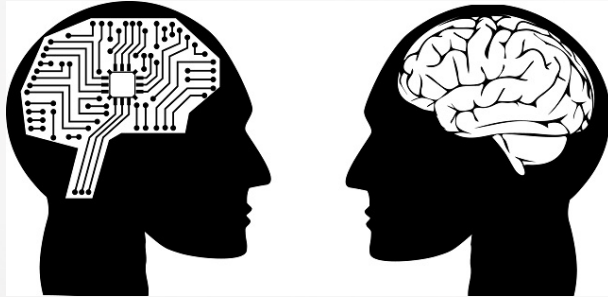


# 「情報Ⅱ」

「情報Ⅰ」の履修を前提とした選択科目

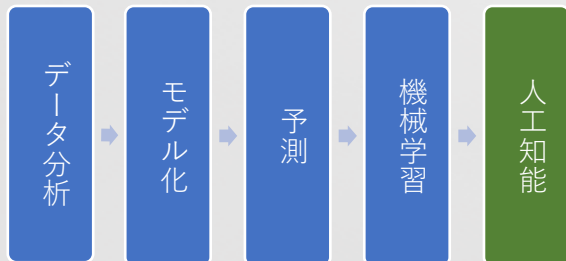
## (1) 情報社会の進展と情報技術

人に求められる資質・能力の変化



## (3) 情報とデータサイエンス

多様かつ大量のデータの扱い



人工知能は特性を知って使うことに重点を置く

## (5) 情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

探究→活用→新たな価値



- ・コンピュータや情報システム
- ・コミュニケーション
- ・データ活用
- ・情報社会
- ・複数の項目

## (2) コミュニケーションとコンテンツ

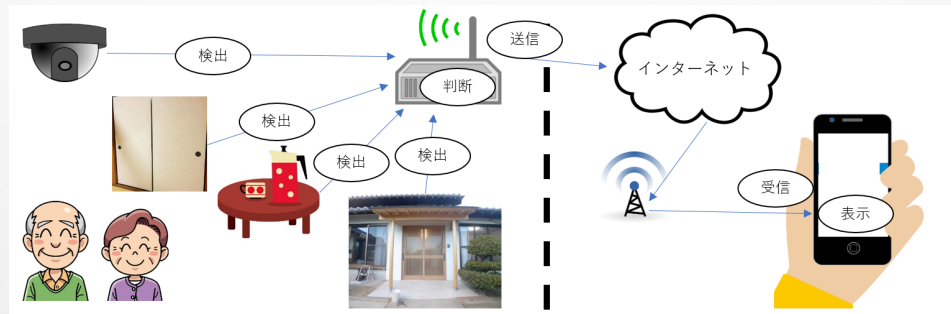
情報デザインの活用→制作・発信・評価



CLI→GUI→NUI→OUI

## (4) 情報システムとプログラミング

システムの構想→分割→作成→統合, 全体のマネジメント





# 小学校からの学習の積み上げ

	情報デザイン	プログラミング	統計に関連した学び
情報Ⅱ	情報デザインを生かしたコンテンツ作成	情報システムのプログラミング	データサイエンス ※数学Bと連携
情報Ⅰ	情報デザインの方法と考え方 問題を発見・解決する手段として活用	問題解決のためのプログラミング コンピュータの仕組み モデル化・シミュレーション	データの活用 ※数学Ⅰと連携
中学校	技術・家庭科など 中学校の各教科等	問題解決のための簡単なプログラミング 計測・制御 ネットワーク&双方向	簡単な統計
小学校	国語，図画工作など 小学校の各教科等	教科の中で体験するプログラミング 仕組みを知り，活用して可能性を広げる	統計的考え方

# 教員研修等

## 文部科学省関連

- 高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材
- 高等学校情報科「情報Ⅱ」教員研修用教材
- 高等学校「情報」実践事例集
- 高等学校情報科担当教員の専門性向上及び採用・配置の促進について（2021.3.23）
- 高等学校情報科担当教員に関する現状及び文部科学省の今後の取組について（2021.3.31）
- 令和4年度からの新高等学校学習指導要領の着実な実施に向けた高等学校情報科担当教員の採用・配置の促進，専門性の向上について（2021.11.29）

## 文部科学省以外

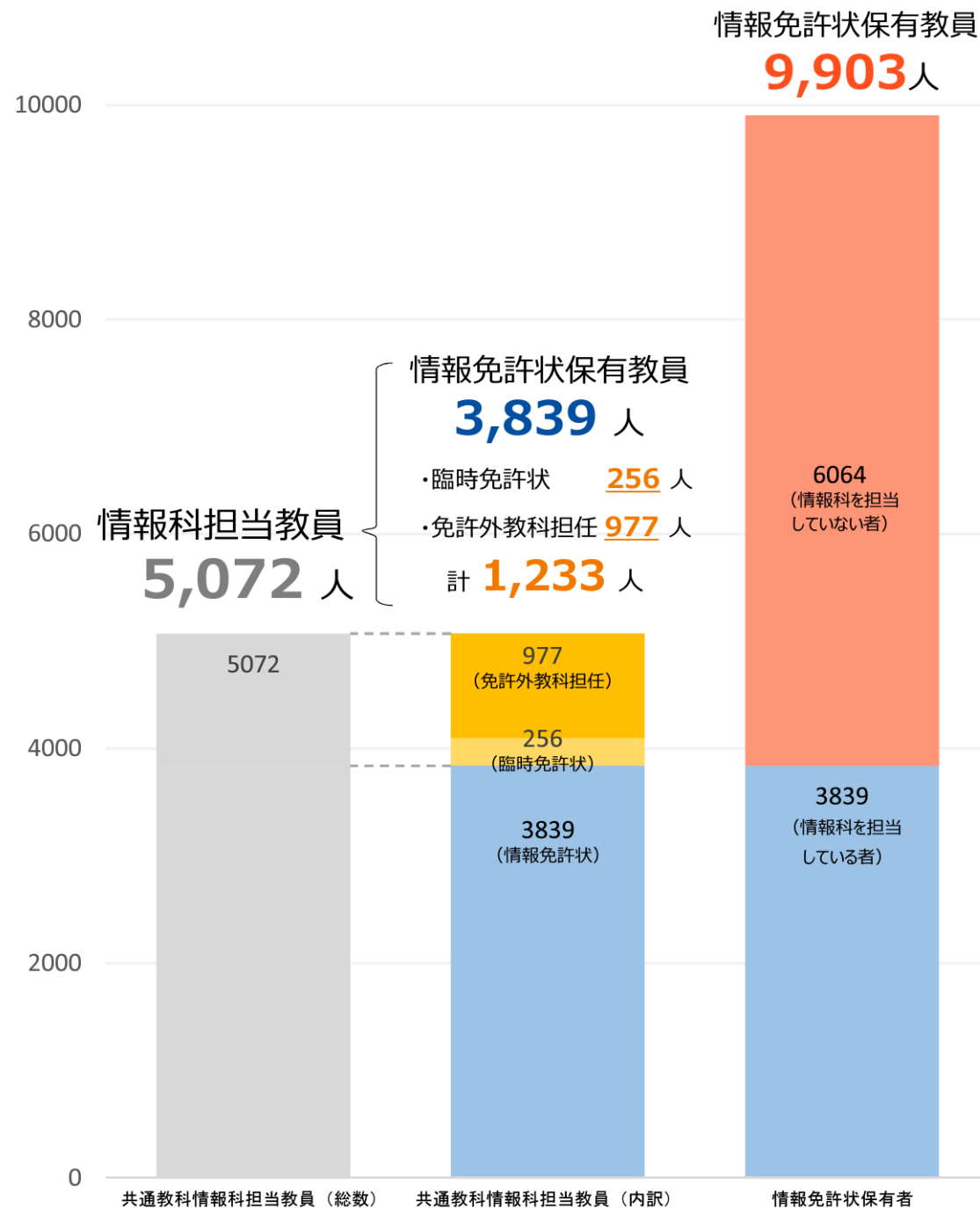
※高等学校情報科教員のためのMOOC教材（情報処理学会）

※高等学校における「情報Ⅱ」のためのデータサイエンス・データ解析入門（総務省統計局）

※情報科教育法－実教出版（2022.1.25）

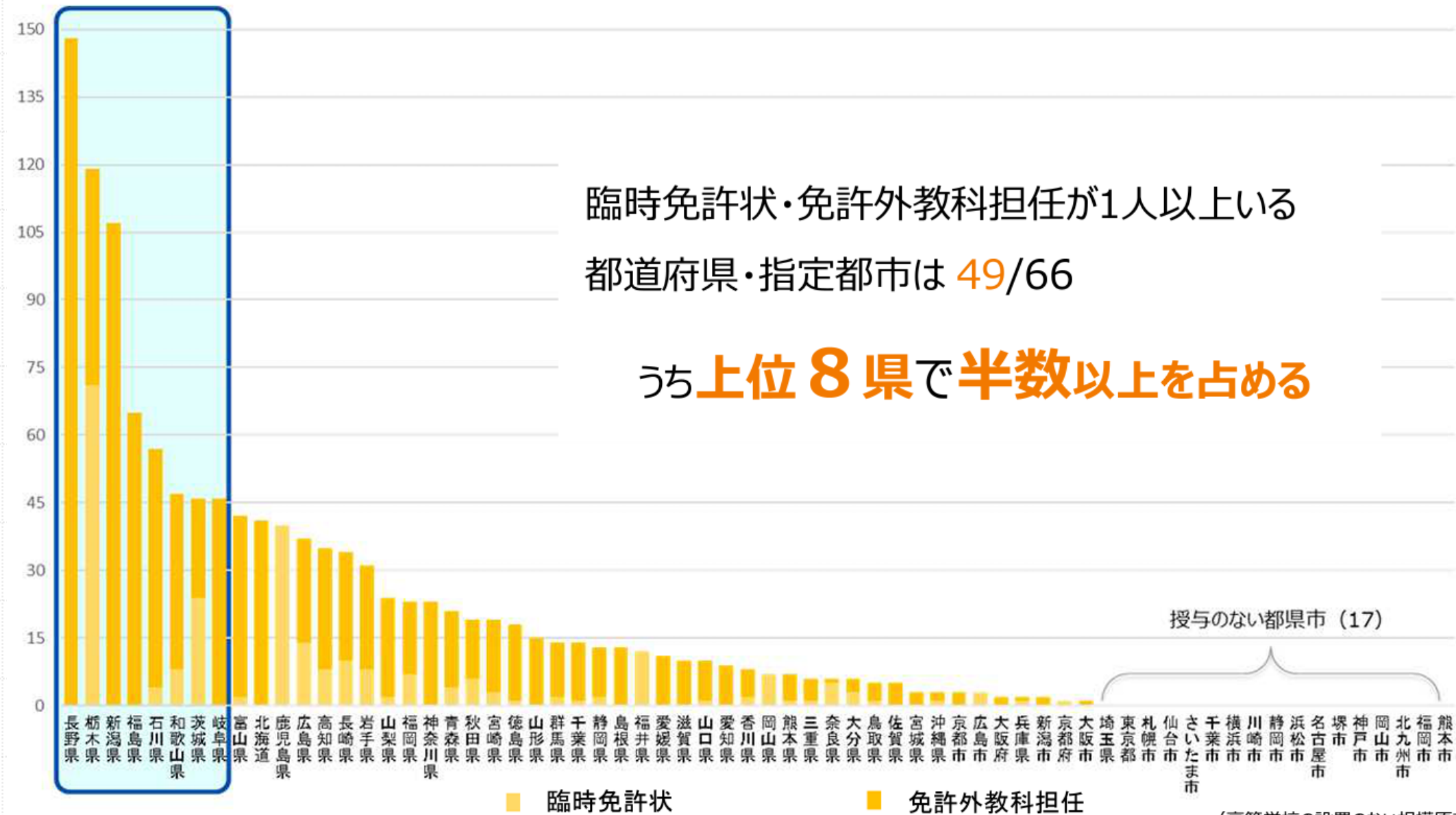
情報科の免許所持者は  
必要数の2倍ほど存在

適正な配置が必要





# 臨時免許状及び免許外教科担任数



(高等学校の設置のない相模原市は除く)

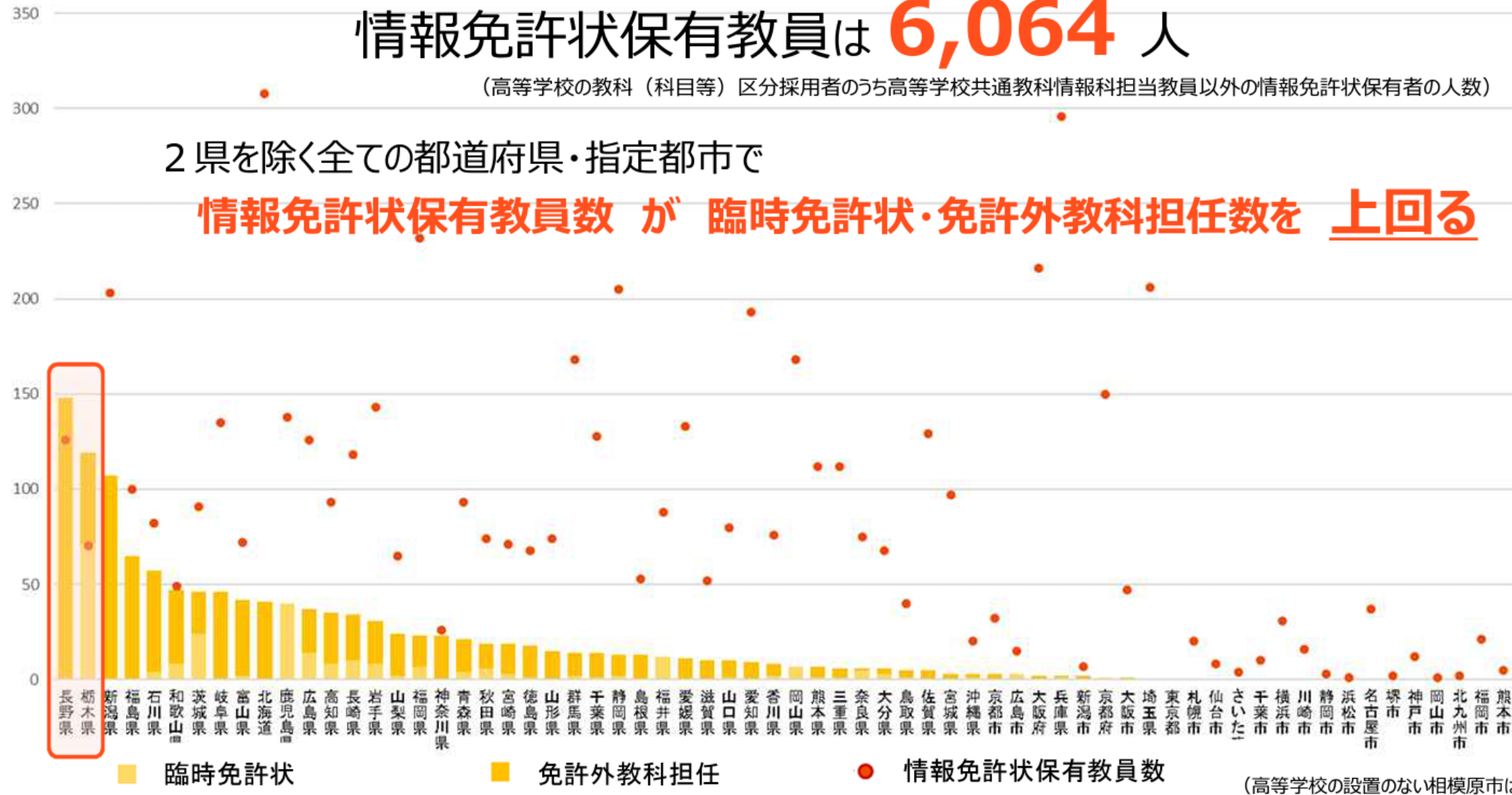
# ○ 現在情報科を担当していない

## 情報免許状保有教員は **6,064** 人

(高等学校の教科(科目等)区分採用者のうち高等学校共通教科情報科担当教員以外の情報免許状保有者の人数)

2県を除く全ての都道府県・指定都市で

**情報免許状保有教員数 が 臨時免許状・免許外教科担任数を 上回る**



(高等学校の設置のない相模原市は除く)



# 「情報Ⅰ」用の教材等

## Web教材

- プログル「情報」 NPO法人 みんなのコード
- Monaca Education アシアル情報教育研究所
- ライフイズテックレッスン Life is Teck !
- Pスタディ Pプラスベーシック ベネッセ

## その他

- 「情報Ⅰ」対応問題集 各社対応
  - 「情報Ⅰ」対応講座 各社準備中
- ※東進ハイスクール 「情報」開講

# 今後について（2024年度入試）

## 大学側の対応

- 既卒者への経過措置としての「旧情報（仮称）」
- 「旧情報（仮称）」と「情報Ⅰ」の内容の違いについて必要なサポート
- 各大学において具体的な入学者選抜方法の検討（2022年度中に予告・公表）

## 高校側の対応

- 「総合的な探究」を含むカリキュラム・マネジメントの事例→情報活用能力の伸長
- 問題集，参考書，教材等の採用→受験対応
- 大学個別試験における「情報Ⅰ」，「情報Ⅱ」の扱い→「情報Ⅱ」の実施に影響

## その他

- 予備校等における「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」関連講座の開講

# 行うべきこと

- 「情報Ⅰ」を含む新学習指導要領の円滑な実施
- 「情報Ⅰ」に向けた教員研修，環境整備の実施
- 「情報Ⅰ」に向けた授業用資料の公開
- 「情報Ⅰ」の受験体制の確立
- 「情報Ⅱ」に向けた教員研修，環境整備の実施
- 「情報Ⅱ」に関する教員研修用資料，授業用資料の公開
- 「情報Ⅱ」の受験体制の確立
- 「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を含めた学校全体のカリキュラム・マネジメントの作成

# (参考) デジタル関連部活支援の 在り方に関する検討会

若年層のデジタル関連活動支援全体像 (暫定案イメージ)

